

☆📷 **ごみゼロ運動統一美化キャンペーン  
ごみのないキレイな町へ**



▲ごみを拾って町をキレイにする参加者

5月31日、ごみゼロ運動統一美化キャンペーンが行われました。

同キャンペーンは、6月5日の環境の日になんだ取り組みで、ごみの回収と参加者の環境意識の高揚と不法投棄防止の啓発を目的として毎年5月の最終日曜日に行っています。

当日は、町職員、町議会議員、業者に加え、各区役員、小・中学校PTA役員など約6,370人が清掃活動を行い、燃やせるごみ約4.6トン、燃やせないごみ約1.4トン、総量約6トンのごみの回収を行いました。

☆📷 **第44回静岡県消防救助技術大会  
「障害突破」で県2位**

6月3日、第44回静岡県消防救助技術大会が県消防学校で行われ、田方消防本部が「障害突破」種目で2位に入り、関東地区指導会の出場権を獲得したことを森町長に報告しました。

障害突破は、ロープやはしごの乗降や塀の乗り越えなどでタイムを競う競技です。

出場メンバーからは、「優勝できなかったことは残念だが、関東地区指導会で良い成績を残し全国大会に出られるように技術を磨きあげたい」と抱負を話してくれました。

同指導会は7月中旬にさいたま市で行われます。



▲森町長に県大会2位を報告する隊員たち

☆📷 **生産者ら出来栄を確認  
函南スイカ目ぞろえ会**



▲3等級の等級基準の確認を行う関係者

6月5日、JA三島函南函南支店出荷場で函南町の特産品「函南スイカ」の目ぞろえ会が行われました。

目ぞろえ会は、出荷するスイカを並べ、傷や大きさ、たたいた音など「秀」「優」「了」の3等級の等級基準の確認を行いました。

今季は、4月の天候不順によって多くの生産者が栽培に苦労しましたが、その後の生産者の管理によって生育が順調に進み例年に劣らない糖度やシャリ感になったとのこと。

出荷は6月中旬から下旬にかけてピークを迎え、7月末まで続きます。

☆📷 **犬との触れ合いを学ぶ  
丹那小で動物愛護教室**



▲「触ってもいいですか。」と飼い主に許可をとる児童

5月21日、丹那小学校の体育館で動物愛護教室が行われました。

同教室は、「動物を大切にしよう」「犬にかまれないようにしよう」を目的に県動物愛護協会主催で開催され、丹那小学校の3年生～5年生25人が参加しました。

児童たちは触れ合う前に、犬の体の話や目や耳、鼻の特徴などの説明を受け、その後、飼い主に許可をとったり、犬の名前を聞いたりしながら実際に犬に触れ、犬との安全な接し方を学びました。

☆📷 **日曜朝市 700回記念  
熱海、函南のゆるキャラも参加**

5月24日、熱海市渚町の渚公園で40年以上続く日曜朝市が700回の節目を迎えました。

日曜朝市は、熱海、函南両市町の連携を図ろうと昭和49年2月に熱海・函南広域行政推進協議会の後援でスタート。現在は毎月第2・第4日曜日の2回開催しています。

当日は、節目を記念する企画として両市町から出店する19店舗の商品などがあたる大抽選会を繰り広げ、早朝から観光客や地元住民でにぎわいました。また、先着100人にはだいたいまんじゅうをプレゼントし両市町のゆるキャラが配布の手伝いをしました。



▲だいたいまんじゅうの配布の手伝いをする両市町のゆるキャラ

☆📷 **平和の尊さを後世に  
戦没者追悼式**



▲追悼式で黙とうをする出席者

5月29日、函南町文化センターで平成27年度函南町戦没者追悼式が行われました。

戦没者追悼式は、先の大戦などで亡くなられた町内の戦没者に対し、追悼の意を表すために行われ、町遺族会や町議会議員、各区役員、民生委員など約160人が出席し、戦没者に黙とうをささげました。

式では、「70年経ち、悲惨な戦争の記憶が風化しつつある。戦争の悲惨さを忘れない。また、後世に引き継いでいってもらいたい。」と追悼の辞が述べられました。

式後は、町遺族会による慰霊祭が行われ、玉串をささげ霊を慰めました。